

2. 研究所の組織・運営の評価

平成7年度における人口・環境研究室（仮称）の組織・定員要求計画について、担当である大江部長に代わって廣嶋部長から説明された。

3. 指定研究部定期評価

高橋人口動向研究部長から、人口動向研究部の主な研究課題と実施状況について、以下の研究課題別に報告があった。それらは、①出生動向に関する調査研究、②出生と結婚の動向とその要因に関する研究、③出生率の将来予測に関する研究、④家庭機能の動向とその要因に関する研究、⑤家庭機能に関する調査研究、⑥死亡率の動向とその要因に関する研究、⑦死亡率の将来予測に関する研究、である。

金子人口情報部長から、人口情報部の主な研究課題と実施状況について、以下の研究課題別に報告があった。それらは、①人口統計の評価、補正に関する研究、②人口学的指標の研究、③特殊生命表に関する研究、④数理人口学的研究、⑤人口研究の動向に関する文献的研究、である。

4. 人口政策研究部、人口構造研究部の研究概況報告

廣嶋部長が研究概況を報告した。

5. 質疑と評価

6. 委員長による総合評価

（廣嶋清志記）

インドネシア人留学生に対する人口学および人口統計データに関する実務研修の実施

日本インドネシア科学技術フォーラム日本委員会事務局の依頼により、3月14日～25日の2週間にわたり人口問題研究所においてインドネシア人留学生3名に対して人口統計学および人口統計データについての実務研修を実施した。

研修内容は、基本的な人口統計データとその基礎的分析法およびパーソナル・コンピュータを利用した簡単な人口分析の事例研修である。具体的には、受け入れは人口政策研究部人口統計学研修室が窓口となり、最初に人口統計学研修室による基本的な人口データおよび簡単な人口統計学の概念について導入が行われ、ついで留学生3名をそれぞれ人口政策研究部、人口構造研究部および人口動向研究部の3部に配置して、各部の研修担当者（渡邊吉利、稲葉寿、今泉洋子の各室長）により個別的に人口統計分析についての研修・指導が行われた。

また、厚生省統計情報部の協力を得て、人口動態統計および厚生統計一般のデータ作成過程について研修・見学および厚生統計データの意義についての研修を行った。

（渡邊吉利記）

ESCAP世界人口会議・高級事務レベル会合

標記会合（Senior Officials Meeting on Targets and Goals of Bali Declaration on Population and Sustainable Development : Implementation Strategy）が1994年1月12日～14日バンコクESCAP本部において15ヶ国、4機関の出席を得て開かれ、日本からは廣嶋および在タイ日本国大使館香川美治一等書記官、大澤祐一一等書記官、畑中桂子専門員が出席した。この会議はESCAP第49回総会決議の提案に基づき日本政府の財政支援により開催されたもので、本年9月カイロで開催される国際人口開発会議に提出するアジア・太平洋地域文書にバリ宣言の勧告を盛り込むために行われた。Rafeuddin Ahmed ESCAP事務局長の開会挨拶のあと、議長にAbdullah Cholil（インドネシア）、副議長にFazlur Rahman（バングラデシュ）、書記にRehana Gill（パキスタン）が選出された。

第1議題：「人口と開発に関するアジア・太平洋地域の行動の要請」から「人口と持続可能な開発に関するバリ宣言」までの人口目標の概観